

皆大歡喜綠雲間人
忘言對詩書適意親魚鳥
閉門即是深山
水雲深處
人畫俱老白雲深處綠雲画房
滿日青山繪事後素用之則行
留也何可一日无此君足下雲生

百穂
に会いに行く。

長釦對白雲
心靜興長讀無聲詩
深心拓縞素懷抱觀春
惟師自然吾師自然
封付一笑月長員人長壽

一扇輕風高駕客帆歸遠漁
孤輪明月偏隨漁笛渡長江

日本画家平福百穂が
当館の所在地横手に没して八十年となりました。
長い年月を経てもなお、百穂は
秋田を代表する日本画家として知られ、
近代日本画壇における評価も変わることはありません。
平福百穂の画業を当館珠玉の名品でたどりま。

没後八〇年

平福百穂展

平成25年 11月16日(土) — 平成26年 2月2日(日)

開館時間 ● 午前9時30分 — 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 ● 平成25年12月29日 — 31日・平成26年1月14日 — 23日

観覧無料 ● 6F コレクション展も無料

秋田県立近代美術館

※お問い合わせ 秋田県立近代美術館 〒013-0064 秋田県横手市新坂字宮ヶ沢 0246 TEL 0182-33-8855 FAX 0182-33-8858
※アクセス JR 横手駅東口から徒歩1分(徒歩5分) 車で約10分 ● 駐車場 秋田自動車道横手インターから約5分
平福百穂(秋田)の休館4年

秋田県角館出身の日本画家平福百穂は^{むせいかい}无声会、^{さんごかい}珊瑚会、^{きんれいしゃ}金鈴社など画家仲間たちと旺盛な創作活動を展開して実力をつけ、文部省美術展覧会において活躍しました。受賞を重ね、審査員となり、晩年は東京美術学校の教授に迎えられています。

昭和8年、兄の危篤の報に秋田県横手に駆けつけた百穂は自らも脳梗塞に倒れ、帰らぬ人となりました。それから80年がたちます。しかしながら、長い年月を経てもなお、百穂は秋田を代表する日本画家として周知され、近代日本画壇における高い評価も変わることはありません。

没後80年を記念して、当館が所蔵する平福百穂の名品により、百穂が求めた美の境地を探ります。



1. 平福百穂
2. 「武尊誅梟帥図」 明治27年 秋田県立近代美術館寄託
3. 「菜圃」 大正9年 秋田県立近代美術館蔵
4. 「蘆花翡翠」 昭和4年 秋田県立近代美術館蔵
5. 「春山」 昭和8年 秋田県立近代美術館蔵

●ギャラリートーク 学芸員による作品解説

11月17日(日)、12月8日(日) 14:00- 5F 展示室

●ワークショップ みんなの教室 (小学生以上を対象にした実技教室)

「墨と顔彩で描こう」 11月24日(日) 10:00-16:00 1F 実習室

※材料費 500円必要

次回展

開館20年 美術館の眼VII

10年間の収集記録 2004-2013

新収蔵品の全容をご紹介します。今回は2009-13年に収集した作品を展示いたします。

2014.2.7 fri - 4.20 sun

没後八〇年 平福百穂展

平成25年 11月16日(土) - 平成26年 2月2日(日)

開館時間 ● 午前9時30分 - 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 ● 平成25年12月29日 - 31日・平成26年1月14日 - 23日

観覧無料 ● 6Fコレクション展も無料

秋田県立近代美術館

※お問い合わせ先 秋田県立近代美術館 TEL 013-0064 秋田県横手市赤坂字部ヶケ62-46 FAX 0182-33-8855 FAX 0182-33-8858